

報道関係者各位

## 当社グループのタケロボが新型コミュニケーションロボットを製品化

～IBM Watson 関連機能、クラウド連携機能、拡張性の強化によりロボットの有用性向上を実現～

株式会社博展(本社:東京都中央区、代表取締役社長 田口徳久)の子会社であり、コミュニケーションロボットの開発、販売を手掛けるタケロボ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 竹内清明 以下「タケロボ」)は、これまでに多くの要望を頂いた機能の搭載と拡張性を強化した、IoT 時代に相応しいコミュニケーションロボットを製品化(※1)しましたので、お知らせいたします。

タケロボでは、誰でも簡単に扱えることをコンセプトに開発したコミュニケーションロボット「ロボコット」をすでに販売しております。今回の「IBM Watson 関連機能」「クラウド連携機能」「拡張性の強化」を施した新型ロボットも、ロボコットシリーズとして取り扱いたします。

### ■IBM Watson 関連機能

タケロボは 2016 年7月に IBM Watson エコシステムプログラム(※2)に参加し、これまで IBM Watson 日本語版を活用したコミュニケーションロボットを提供してまいりました。これまでの提供により確認できた強化すべき機能(図 I)を今回、新型コミュニケーションロボットに実装いたしました。

### ■クラウド連携機能

コミュニケーションロボットを遠隔の複数拠点に複数台設置した際、遠隔にある全てのロボットをセンターからコントロールしたいとの要望を多くいただいております。新型ロボットには、クラウドによる遠隔コントロール機能を搭載するとともにロボットが提供する各種コンテンツに関連する機能(図 II)も強化いたしました。

### ■拡張性の強化

強化された各種機能とともに拡張性とパフォーマンスを更に向上するため、ユーザーインターフェイス OS には Windows を採用いたしました。ロボコットと Windows アプリとの連携や、高性能 Windows タブレット各機種(※3)を内包することが可能となり、(図 III)にある各種スペックの向上にもつながります。

### ■パートナー企業

新型も加わり新たにラインナップされたロボコットシリーズは、下記パートナー様よりご購入いただくことができます。パートナー様がノウハウを持っている IT システムとの連携や各種活用案など、ロボコットシリーズに魅力的なサービスを付随して提供することも可能です。

[2017年1月26日(木)時点で掲載をご許可いただいたパートナー様;五十音順]

株式会社ゼオ(TYO グループ)

ソフトバンク コマース&サービス株式会社

テクノエフアンドシー株式会社

株式会社日立ハイテクソリューションズ

■実証実験先:イオンフィナンシャルサービス株式会社

今回製品化した新型の12インチ画面クラウド兼IBM Watson 連携タイプのロボコットは、イオンフィナンシャルサービス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 河原 健次 以下「イオンフィナンシャルサービス」)の調査研究拠点である「幕張ラボ」に検証導入する予定です。ロボコットは、お客さまとの対話を通じた各種サービスや商品のご案内、店頭でよくある質問等に対応いたします。

タケロボでは今回新たに追加した新型ロボコットを含め、ロボコットシリーズとして今後3年間で、2万台の販売を計画しております。また、ロボコットシリーズの販売とともに、今後もより一層、多くの方々に喜ばれる機能強化や新型ロボットの開発に取り組んでまいります。

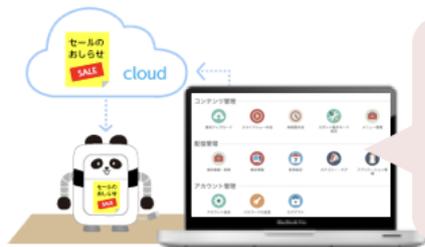
(図 I)IBM Watson に関連する機能強化のポイント



**Watsonの長所を有効活用するための機能強化**

- ・音声認識の向上により、自然な言語対話を実現
- ・ノイズキャンセル能力の向上
- ・個別のアプリケーション開発による短文・単語レベルの認識率アップ
- ・対話中に表示する画像も簡単に登録できる

(図 II)クラウド連携やコンテンツ管理における機能強化のポイント



**クラウド連携による管理機能の強化**

- ・簡易発話、表示画面、動作を全てクラウド経由で設定可能
- ・複数のロボットをグループ化して管理することもできる
- ・提供コンテンツや稼働シナリオのスケジュール管理が可能
- ・運用者に応じた管理権限を設定することが可能

(図 III)拡張性とパフォーマンス向上を実現するためのスペック強化点

CPU	Core - i5
メモリ	4GB
SSD	128GB
ディスプレイ	12インチ
インターフェイス	WiFi USB×3 Bluetooth
OS	Windows 10 Pro

(※1) ロボコットシリーズ

タケロボがこれまで提供してきた8インチ画面スタンドアロン型サービスロボット「ロボコット」シリーズとして、今回の新型サービスロボットを商品化いたします。ロボコットに今回の新型2種が加わったことで、ロボコットシリーズは今後、下記3種類で提供していきます。

8インチ画面スタンドアロンタイプ — ロボコット SS12

(新型)12インチ画面クラウド連携タイプ — ロボコット SC11

(新型)12インチ画面クラウド兼 Watson 連携タイプ — ロボコット SW11

詳細につきましては、以下の URL をご参照いただきますよう、お願いいたします。

<http://www.takerobo.co.jp/robocot>

(※2) IBM Watson エコシステムプログラム

IBM Watson エコシステムプログラムには、IBM Watson を活用したアプリケーションやサービスを提供する「ビジネスパートナー」と IBM Watson を活用したアプリケーションの開発や導入に関するコンサルティング、技術支援を行う「テクノロジーパートナー」の2種類があり、タケロボはその両方に選定されています。詳細につきましては、以下の URL をご参照いただきますよう、お願いいたします。

<http://tm.softbank.jp/watson/partner>

ロボコット SW11 モデルの自然言語対話機能は、IBM Watson の API「Speech to Text」と「Conversation」を利用しています。

IBM Watson は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

(※3) 推奨 Windows タブレット

ロボコットシリーズは、ロボットの稼働 OS として Windows を採用しております。タケロボでは、日本マイクロソフト株式会社の協力を得ながらロボットの開発を実施しており、内包タブレットは Windows のパフォーマンスを最大化する Surface を推奨しております。

以上

■本件に関するお問い合わせ先

タケロボ株式会社 広報担当 岡田  
〒104-0045 東京都中央区築地一丁目13番14号 NBF東銀座スクエア  
Tel: 03-6821-9751 Mail: [info@takerobo.co.jp](mailto:info@takerobo.co.jp)